

2013年6月27日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報33号

デモに便乗した犯罪の発生とマレ地区の治安悪化に関する注意喚起

24日夜、リオ市北部沿岸のマレ地区を拠点とする犯罪組織が、ボンセッソ地区で行われていたデモ行進に便乗して集団強盗を敢行しました。

同組織を従前から捜査していた軍警察特殊部隊は直ちに同組織を追跡し、組織はマレ地区のノヴァ・オランダ・スラム街に逃げ込みました。

25日未明にかけて激しい銃撃戦となり、警察官1名が死亡しました。

これを受けて軍警察は25日朝から装甲車などを使用して400名体制で同スラム街に侵攻しました。激しい銃撃戦の結果、9名が死亡、うち3名は無関係の一般市民でした。

- ・デモの周辺では犯罪行為が多発しています。みだりに近づかないでください。
- ・マレ地区はリオ市で唯一、犯罪組織掃討作戦が終了していない地区で、今後も難航が予想されます。同地区はガレオン国際空港に向かう際に避けて通れませんので、空港に向かう前には経路の交通状況を確認するなど、十分注意してください。